

当面の維持管理の試行

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

2. 当面の維持管理の試行（案）

【案①】

モトクロス場跡地D
整備地周辺の
シンジュ

- ◆平成25年4月にシンジュの大木を伐採し、切り株にシートをかぶせ、再繁茂を抑制する試験対策を行いました。
- ◆試験の結果、生きている地下部が、シート外にまで伸びて、シートの外側から幼木が再繁茂することが確認されました。
- ◆平成27年1月にシート外側の幼木を伐採し、新しいシートをかぶせましたが、地下部は除去していないため再繁茂しつつあります。

- ◆新たな対策として、幼木の抜き取り、伐採を、周辺の草本が枯死して作業性が良くなる11月頃に実施することを提案します。
- ◆繁茂面積は数十m四方程度で、幼木は素手での抜き取りまたは小型ののこぎりでの伐採が十分可能であるため、協議会のメンバーでこれを実施します。
- ◆抜き取った・刈り取ったシンジュは現場に放置してもそこからの再繁茂はないため、運搬・処分の必要ありません。

- ◆次年度、**生育初期**（周辺に草本が密生する前の6月頃）に、**再度同様の伐採**を行います。
- ◆次年度、**今回と同じ時期**に状況を確認し、幼木が認められたら、**再度同様の伐採**をします。
- ◆これを繰り返すことでシンジュの生育が抑制できないか、確認します。



シンジュの大木が生育していました。
(写真右隣はエノキ)
(H23.5.31撮影)



シートをかぶせた部分は枯死
しました。
(H26.1.31撮影)



再度伐採し、新しいシートをかぶせました。
(H27.1.14撮影)



枯死した株の地下部
からシート外に伸びて
いました。(H27.1.14
撮影)



シンジュの大木を伐採して地表にシートをか
ぶせる試験をしました。(H25.4.26撮影)



地下部が生きており、シートの外から再繁茂
しつつありました。(H26.12.18撮影)



再び、シートの外から
再繁茂しつつあります。
(H27.8.21撮影)

2. 当面の維持管理の試行（案）

【案②】

モトクロス場跡地A
整備地周辺の
ハリエンジュ

◆現存するハリエンジュの大木周辺に幼木が増加しつつあり、放置しておくとハリエンジュが広がる可能性があります。

◆ハリエンジュの拡大を防ぐために、幼木の抜き取り、伐採対策を提案します。

◆繁茂面積は数十m四方程度で、幼木は素手での抜き取りまたは小型ののこぎりでの伐採が十分可能であるため、協議会のメンバーでこれを実施します。

◆抜き取った・刈り取ったハリエンジュは現場に放置してもそこからの再繁茂はないため、運搬・処分は必要ありません。

◆周辺の草本が枯死して作業性が良くなる11月頃に実施します。

※大木は協議会メンバーでの伐採は困難であるため、存置します。

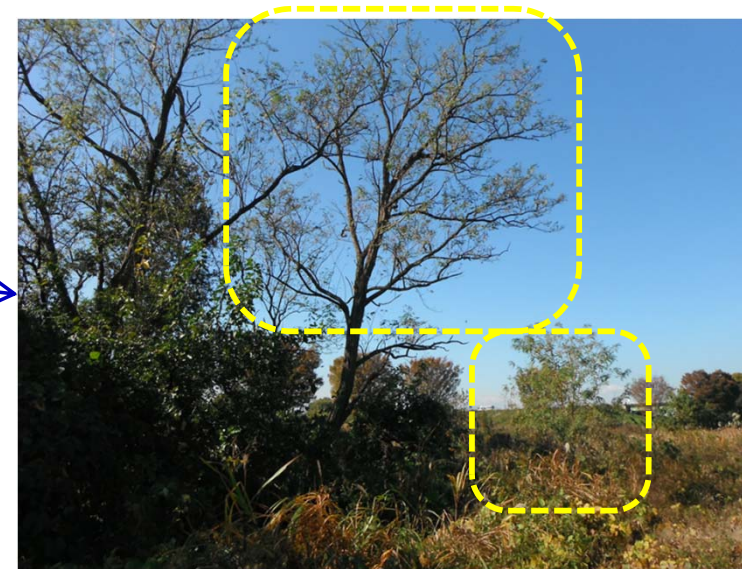
◆次年度、生育初期（周辺に草本が密生する前の6月頃）に、再度同様の伐採を行います。

◆次年度、今回と同じ時期に状況を確認し、幼木が認められたら、再度同様の伐採をします。

◆これを繰り返すことでハリエンジュの生育が抑制できないか、確認します。

旧流路整備地の
H26の植生図（夏～秋作成）

非公開



ハリエンジュの大木と幼木が生育しています。（H26.11.13撮影）